

人類学演習 II 談話会

日時：11月21日 16:30～18:00

場所：理学部2号館 402号室

< 演者 >

山口 今日子さん

(生態人類学研究室博士課程)

< 講演テーマ >

ヒトの身体的形質に対する選好性について

< 概要 >

ヒトの男性は女性の身体的形質に選好性を示すことが先行研究からわかっており、その例として平均より大きい乳房や、低いウェスト・ヒップ比、色白の肌などがあげられる。今回は主に肌の色と乳房サイズを取り上げ、好みが生じる理由とプロセスを考察する。

まず肌の色に関しては、日本人の皮膚色に対する好みを定量的に分析し、また、妊性と皮膚色の相関の有無を確かめた。皮膚色と妊性の関係については、皮膚色の明化は排卵や初潮をシグナルするわけではないが、性的成熟を徐々に示していく役割の可能性があることが分かった。また、男性は平均より白い女性を好み、女性は自分より色黒の男性を好むことが分かった。

次に乳房サイズ等身体的形質に関して、男性の好みに母親の形質が影響するかを調べた。結果から、息子は母親の体型・乳房サイズは正確に認識していないものの、息子の乳房サイズの好みにおいて、母親による負の性的刷り込みが関与する可能性が示唆された。以上の研究結果を中心に、先行研究も紹介しながら身体的形質の好みに関する考察をすることで、学部生の興味・思考がさらに広がることを期待する。

今後の予定 11月28日 諏訪研

12月 5日 井原研

担当：田口裕祐